

成人看護学

[講義] 第1学年 後期 必修 2単位

【担当者名】 桑原ゆみ yumi-k@hoku-iryu-u.ac.jp 神田直樹

【概要】

成人期にある人を生活者として理解し、成人とその家族の自律と意思決定を尊重する看護を展開するために必要な基盤となる知識を学際的に学ぶ。

【学修目標】

1. 成人期の特徴と成人各期の発達課題、健康問題を説明できる。
2. 成人期にある人々とその家族の健康課題の解決に向けたわが国の対策の概要を説明できる。
3. 成人期にある人々とその家族を看護するための基本的な視点を説明できる。
4. 健康状態に応じた看護を実践するために、健康状態別の対象者とその家族の特徴、対象理解のための理論、および看護の概要を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	成人期にある人の理解	「成人」の定義と位置づけ 成長・発達課題から見た成人期の特徴	桑原
2	成人期にある人の理解	成人期の人々の生活と家族	桑原
3	成人期の健康課題と対策	青年期に特徴的な健康課題と保健・医療・福祉政策	桑原
4	成人期の健康課題と対策	壮年期・向老期に特徴的な健康課題と保健・医療・福祉政策	桑原
5	成人看護の基本的な視点	成人期にある人々とその家族を看護するための基本的な考え方	桑原
6	成人の健康状態に応じた看護 健康の保持・増進	健康の保持増進、疾病の予防期にある人々とその家族の特徴	桑原
7	成人の健康状態に応じた看護 健康の保持・増進	健康の保持・増進、疾病の予防のための看護 トランスセオレティカル・モデル	桑原
8	成人の健康状態に応じた看護 周術期看護	手術療法の基本と周術期の患者の特徴と看護	神田
9	成人の健康状態に応じた看護 周術期看護	手術侵襲と生体ストレス反応・回復過程 周術期患者の心理的特徴とストレスコーピング	神田
10	成人の健康状態に応じた看護 リハビリテーション期	障害をもつ人々とその家族の特徴	桑原
11	成人の健康状態に応じた看護 リハビリテーション期	障害をもつ人々とその家族への看護 ICFの考え方と生活の再構築へ向けての看護	桑原
12	成人の健康状態に応じた看護 慢性期看護	慢性疾患および治療・療養法の特徴と生活に及ぼす影響	桑原
13	成人の健康状態に応じた看護 慢性期看護	慢性疾患と共に生きる人とその家族への看護 病みの軌跡とセルフケア理論	桑原
14	成人の健康状態に応じた看護 終末期看護	終末期にある成人と家族が置かれる状況と看護 死にゆく人の心理過程と意思決定支援・グリーフケア	桑原
15	成人期にある人々とその家族への看護	成人とその家族を看護するポイント 多様化する療養と移行支援	桑原

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題30%、定期試験（筆記試験）70%

課題のフィードバック：各回の授業および最終回でコメントする。

定期試験のフィードバック：採点修了後、個別面談にてコメントする。

【教科書】

新体系看護学全書 成人看護学 成人看護学概論 成人保健, メヂカルフレンド社 (デジタル教科書)

【参考書】

その都度, 資料を配付する。

【学修の準備】

予習: 授業前に教科書の該当箇所を読み, 問題意識を持って授業に臨むこと。(2時間)

復習: 各回の授業資料, 教科書の該当箇所の内容を振り返り, まとめること。(2時間)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2. 看護専門職に必要な知識・技術を習得し, 健康や生活に関する問題に対して, 適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【ICTの活用】

1. Google Formsを活用し, 講義時間内に学生の理解度を把握する
2. GoogleClassroomを利用して, 学習課題、追加資料などの配付等を行う

【実務経験】

桑原ゆみ(看護師), 神田直樹(看護師・急性重症患者看護専門看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関における成人の対象者への看護の実務経験を活かし, 成人期の特徴や病期別の特徴, それらを踏まえた看護について, 理解を深められるよう事例を交えながら講義を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している